

PRESS RELEASE

報道関係各位

2025 年 9 月 25 日
株式会社トレードワルツ

三井住友海上が貿易情報連携プラットフォーム「TradeWaltz®」とのデータ連携開始

～DXにより貿易業務の効率化を後押し～

株式会社トレードワルツ（本社：東京都港区、代表取締役社長：佐藤 高廣、以下「トレードワルツ」）は本日より、MS&AD インシュアランス グループの三井住友海上火災保険株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：船曳 真一郎、以下「三井住友海上」）との API 接続によるデータ連携を開始いたします。それに伴い三井住友海上は、DX によって外航貨物海上保険におけるお客さまの業務効率化を支援する新サービスの提供を開始します。

※三井住友海上公式サイト（<https://www.ms-ins.com/>）

三井住友海上が
貿易情報連携
プラットフォーム
「TradeWaltz®」との
データ連携開始

～DXにより貿易業務の効率化を後押し～



MS&AD 三井住友海上

■背景

外航貨物海上保険の証券は、国内外を流通する貿易書類の一つとして発行の迅速性・正確性が求められています。三井住友海上は、外航貨物海上保険専用システム「e-貨物保険サービス」（以下「e-貨物」）の Web 申込手続き及び保険証券類発行サービスの提供を通じて、これらのニーズに応えてきました。一方、貿易業務の過程においては、インボイス（商業送り状）等から保険申込手続きに必

要な情報を転記する必要があるなど、手続きのデジタル化や業務効率化の推進が課題となっています。そのような中、e-貨物とTradeWaltz®をデータ連携することで、貿易業務の効率化・デジタル化に貢献して参ります。

■概要

(1) TradeWaltz®での保険契約手続き

TradeWaltz®では、輸出入者・銀行・運輸会社・通関会社・税関等の貿易関連データが共有可能です。保険申込手続き時に本データを活用することで、従来発生していた転記作業が不要となり、業務効率化と記入ミスの防止を実現します。また、TradeWaltz®上で手続きを行うことで、関係者間で業務プロセスを可視化・共有でき、手続き漏れの防止等が期待できます。

(2) TradeWaltz®へのデータ提供

外航貨物海上保険の保険証券および保険料情報を、三井住友海上からTradeWaltz®上にデジタルデータとして提供いただくことで、各種データの取り出しが可能となり、関係者間の情報連携や業務効率化に向けた活用が期待されます。

■トレードワルツについて (<https://www.tradewaltz.com>)

株式会社トレードワルツは、貿易業務に関わる情報を電子データで一元的に管理できる貿易情報連携プラットフォーム「TradeWaltz」をSaaSとして運営・提供しています。NTT データと主要な貿易実務者 18 社からなる貿易コンソーシアムで約 4 年間のシステム開発・技術実証、法改正提案、事業構想を経て、サービス化。

現在は、株式会社 NTT データ、豊田通商株式会社、東京大学協創プラットフォーム開発株式会社、住友商事株式会社、三菱商事株式会社、株式会社 TW Link、東京海上日動火災保険株式会社、株式会社三井住友銀行、豊島株式会社、株式会社上組、株式会社フジトランス コーポレーション、三井倉庫ホールディングス株式会社、株式会社日新、株式会社三菱 UFJ 銀行、丸紅株式会社、三菱倉庫株式会社、株式会社みずほ銀行、損害保険ジャパン株式会社の 18 社の共同出資により、事業を運営しています。

本件に関するお問い合わせ先（株式会社トレードワルツ）
広報・マーケティングチーム 担当：菊地、柊田 Email：info@tradewaltz.com